※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３１６ |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校　精選古典探究」　（第一学習社）<br>※二年次では古文・漢文共に第一章を中心に扱います。 | | | | | | |
| 副教材等 | 新明説総合古典文法（尚文出版）新国語総合ガイド（啓隆社）<br>三訂版　プログレス古文総演習・標準編（いいずな書店）<br>助動詞・助詞・敬語・識別　入試対策強化解釈力の超トレーニング（尚文出版）<br>完成　日本文学史ノート〈三訂増補版〉（啓隆社）<br>四訂版　わかる・読める・解ける　KeyPoint　古典単語 330（いいずな書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題に対して、基礎知識をつける努力を怠らず、考える活動にも積極的に取り組みましょう。
・古文・漢文の作品を通して「読む能力」を向上させるとともに、自分の思いや考えを深めましょう。
・家庭学習については、週末・長期休暇中などに適宜課題を課し、所定の期日までに提出を求めます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業ノートやプリントについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自分で気付いたこと、大切だと思ったことなどを板書の欄外にメモを取り、理解を深める工夫をしましょう。

## 2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。 |

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 説話<br>［教材］<br>『小式部内侍が大江山の歌の事』(古今著聞集)<br>『歌ゆゑに命を失ふ事』(沙石集) | a古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。<br>c:積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |
| | 歌物語<br>［教材］<br>『初冠』(伊勢物語)<br>『姨捨』(大和物語) | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。<br>c:粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。もしくは、男の心情変化について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |
| 二学期 | 随筆<br>［教材］<br>『宮に初めて参りたるころ』<br>『すさまじきもの』(枕草子)<br>『ゆく河の流れ』方丈記 | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。<br>c:積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |
| | 史伝<br>［教材］<br>『鴻門之会』(史記) | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。<br>c:本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |
| | 日記文学<br>［教材］<br>『門出』<br>『源氏の五十余巻』(更級日記) | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>c:『源氏物語』の「夕顔」や「浮舟」について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 物語<br>［教材］<br>『光る君誕生』<br>『若紫』(源氏物語) | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。<br>c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |
| | 歴史物語<br>［教材］<br>『花山天皇の出家』<br>『弓争ひ』(大鏡) | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。<br>c:積極的に登場人物の行動や語り手の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |
| | 和歌・歌謡・俳諧<br>［教材］<br>万葉集<br>古今和歌集 | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]:古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。<br>c:学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート<br>小テスト |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間